

第2次 宮古島市総合計画

基本計画(後期)

令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)

- 第1章 地下水や豊かな自然環境と共生したエコアイランド宮古^{みやへく}
- 第2章 子どもたちが笑顔にあふれ活力と郷土愛に満ちた宮古^{みやへく}
- 第3章 一人ひとりが支え合い幸せと潤いのある健康福祉の宮古^{みやへく}
- 第4章 島の特色を活かした産業の振興、多彩な交流・活力にあふれる宮古^{みやへく}
- 第5章 安全・安心で快適な暮らしが持続する宮古^{みやへく}
- 第6章 市民との協働により夢と希望に満ちた島、宮古^{みやへく}

● 基本計画の見方 ●

1 かけがえのない 地下水の保全



■ 現状と課題

現状と課題

各分野における本市の現状や現状からなる課題、関連データ等を記載しています。

▶ 地下水の硝酸性窒素濃度は年々減ってきていますが、一部数値が高い地点があるため、今後も低減化に向けた取り組みが重要となります。本市の生活及び産業基盤となる「水」は、地下水により支えられていることから、地下水汚染の軽減に向け有機質肥料や緩効性肥料の適正使用や生活排水処理における下水処理設備の整備、合併処理浄化槽への転換を推進する必要があります。

▶ 地下水保全を地域全体の問題として捉え行動する必要があることから市民一人ひとりが地下水の仕組みや現状について理解を深め地下水保全の意識を高める取り組みが必要です。

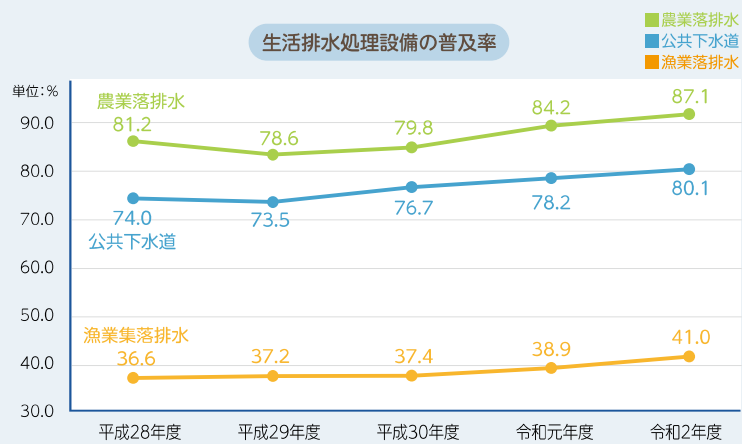


ムイガー湧水（城辺字友利）

用語解説

各項目に記載している内容について、補足が必要な文言に用語解説を記載しています。

生活排水処理設備の普及率



緩効性肥料

水に溶けにくい成分を使用するなど、効果がゆっくりあらわれ、長続きするように工夫された肥料

硝酸性窒素濃度

溶液中に硝酸イオン(NO₃⁻)として存在している窒素濃度を示した値

SDGs アイコン

SDGs (「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称)とは、2015年(平成27年)の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年(令和12年)までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17の目標があり、本市においても、SDGsの達成に寄与するため、施策の内容に関連するSDGs アイコンを貼り付けています。

施策の基本方針

現状と課題を踏まえ取り組むべき基本的な方針を記載しています。

目標項目

基本方針の達成に向け代表的な指標を設定し、基準値(令和2年度)と目標値(令和8年度)を記載しています。目標値の基準年度は原則令和2年度としていますが、一部、新型コロナウイルス等の影響を受けた項目については令和2年度以外の基準年度をもちいています。

施策一覧

基本方針に基づき、目標項目を達成するために取り組む内容を記載しています。

■ 施策の基本方針 1



硝酸性窒素濃度の低減化に向け、化学肥料や有機質肥料等の適正使用に向けた取り組みを推進するとともに、生活排水などによる地下水汚染の軽減を図ります。

● 目標項目 ●

良好な地下水水質の維持(硝酸性窒素濃度の低減)

※【環境省】硝酸性窒素濃度の水質環境基準 10mg/L以下

令和2年度

令和8年度

4.81mg/L → 4.40mg/L

● 施策一覧 ●

- ①化学肥料の適量使用の啓発及び有機質堆肥・緩効性肥料・緑肥活用の推進
- ②生活環境の確保を目指した下水道への加入促進
- ③生活排水処理対策に向けた合併処理浄化槽設置の推進

■ 施策の基本方針 2



地下水の保全に向け、本土に関わる全ての人々が協働し地下水の仕組みや現状について、理解を深める機会を創出します。

● 目標項目 ●

地下水モニタリング調査報告書に基づく報告会の実施

令和2年度

令和8年度

0回 → 1回

● 施策一覧 ●

- ①地下水保全条例及び地下水利用基本計画に基づく適正な地下水の保全
- ②地下水水質改善に向けた環境保全活動の推進
- ③市民、行政が連携した啓発活動の推進による地下水保全への理解促進



SDGs 17の目標



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な生産と消費のパターンを確保する



15. 陸の豊かさを守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転ならびに生物多様性損失の阻止を図る



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手頃で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



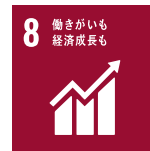
16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児の自律を図る



8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する



11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



17. パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

第1章

地下水や豊かな自然環境と 共生したエコアイランド宮古^{みや〜く}

1 かけがえのない 地下水の保全



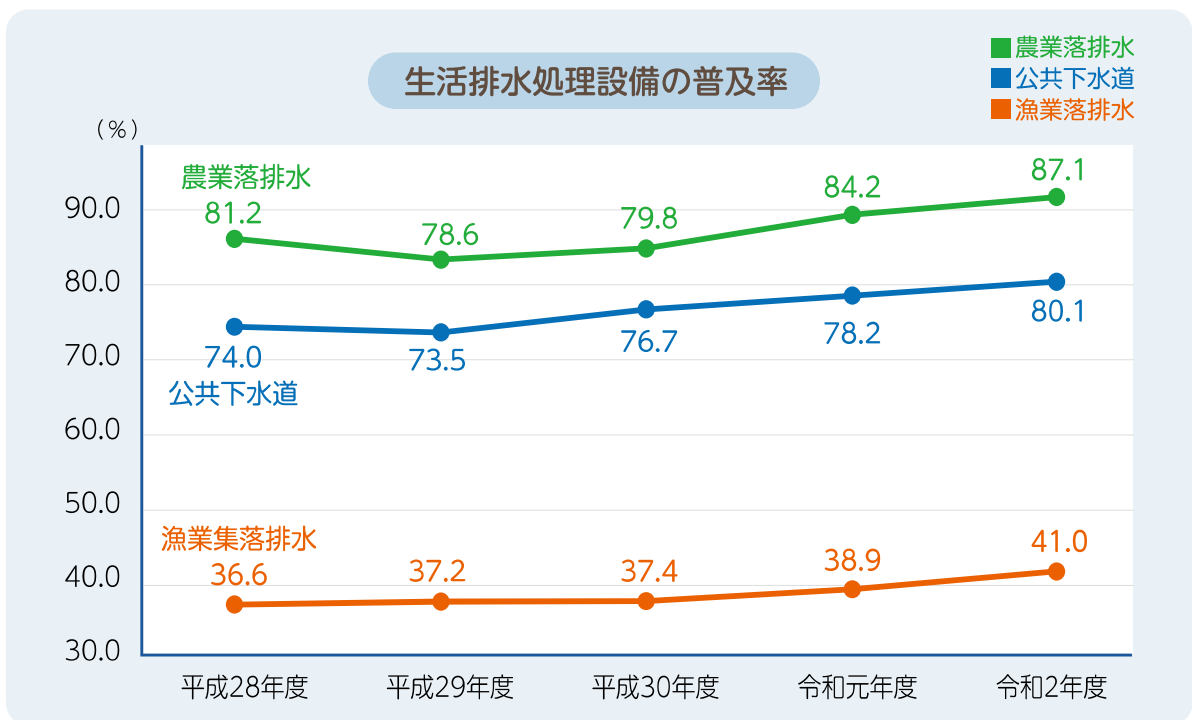
■ 現状と課題

▶本市における生活及び産業の基盤となる「水」は、地下水により支えられています。本市の全体的な地下水の硝酸性窒素濃度は年々減ってきていますが、一部数値が高い地点があることから、今後も低減化への取り組みが必要です。また、地下水汚染の軽減に向けて、有機質肥料や緩効性肥料の適正使用、生活排水における下水道整備、合併処理浄化槽への転換を推進する必要があります。

▶地下水の保全は、市全体の問題として捉え行動する必要があることから市民一人ひとりが地下水の仕組みや現状について理解を深め、保全の意識を高める取り組みが必要です。



ムイガー湧水（城辺字友利）



用語解説

- 緩効性肥料** 水に溶けにくい成分を使用するなど、効果がゆっくりあらわれ、長続きするように工夫された肥料
- 硝酸性窒素濃度** 溶液中に硝酸イオン(NO₃⁻)として存在している窒素濃度を示した値

■ 施策の基本方針 1



硝酸性窒素濃度の低減に向け、化学肥料や有機質肥料等の適正使用への取り組みを推進するとともに、生活排水などによる地下水汚染の軽減を図ります。

● 目標項目 ●

良好な地下水水質の維持（硝酸性窒素濃度の低減）

※【環境省】硝酸性窒素濃度の水質環境基準 10mg/L 以下

令和2年度

令和8年度

4.81mg/L → 4.40mg/L

● 施策一覧 ●

- ①化学肥料の適正使用の啓発及び有機質堆肥・緩効性肥料・緑肥活用の推進
- ②生活環境の確保を目指した下水道への加入促進
- ③生活排水処理対策に向けた合併処理浄化槽設置の推進

■ 施策の基本方針 2



地下水の保全に向けて、本市に関わる全ての人々が協働し、地下水の仕組みや現状について理解を深める機会を創出します。

● 目標項目 ●

地下水モニタリング調査報告書に基づく報告会の実施

令和2年度

令和8年度

0回 → 1回

● 施策一覧 ●

- ①地下水保全条例及び地下水利用基本計画に基づく適正な地下水の保全
- ②地下水水質改善に向けた環境保全活動の推進
- ③市民、行政が連携した啓発活動の推進による地下水保全への理解促進

2

美しい島づくりの推進と 美しい海の保全



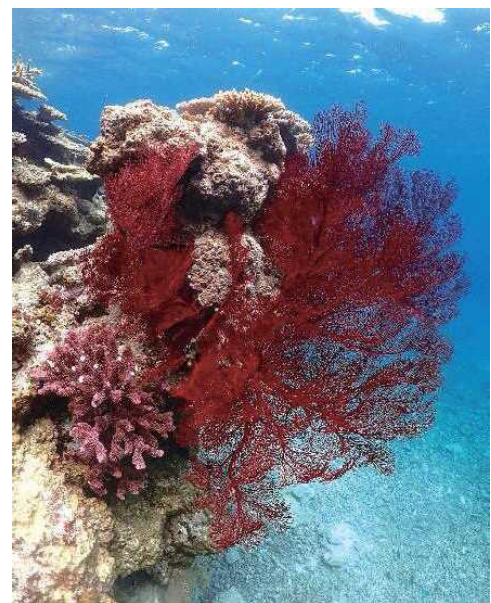
■ 現状と課題

▶本市における不法投棄ごみは、依然として減っていないことから、啓発や監視の強化等、不法投棄を増やさないための取り組みが必要です。

▶本市が有する美しい自然や海を今後も維持するためには、海岸清掃を行うボランティア団体等の活動を支援する仕組みが必要です。また、土地開発の活発化による自然環境の悪化が懸念されるなか、貴重なサンゴ礁など生物多様性を次世代へと繋ぐため、市民だけでなく、観光客も一体となった、維持保全の取り組みが必要です。



ボランティア清掃の様子



サンゴ礁

用語解説

生物多様性 森林、川、干潟、砂浜、サンゴ礁など多様な生態系が相互につながりながら存在する状況

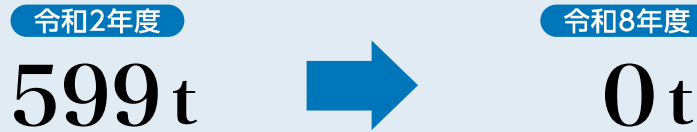
■ 施策の基本方針 1



不法投棄ごみの抑制に向け、不法投棄をしない、させない社会づくりに取り組みます。

● 目標項目 ●

不法投棄ごみ増加の抑制



● 施策一覧 ●

- ①不法投棄ごみ撲滅に向けた監視の強化
- ②不法投棄ごみの処理対策の推進
- ③市民、行政が一体となった不法投棄ごみ対策委員会の設置

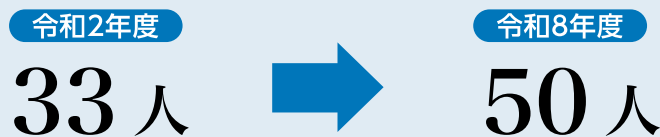
■ 施策の基本方針 2



豊かな自然環境及び生物多様性を次世代へと繋ぐため、市民だけでなく、観光客も一体となる、維持保全に向けた取り組みを推進します。

● 目標項目 ●

自然環境保全に関する講座への参加延べ人数（年間）



● 施策一覧 ●

- ①美しい海、海岸線及びサンゴ礁の保全活動の支援
- ②ボランティア清掃への支援による海岸等の保全
- ③陸域等からの負荷軽減に向けた赤土流出防止の普及啓発
- ④宮古島市固有の生物・希少種を含めた生物多様性の保全
- ⑤市民及び観光客など全ての利用者が環境に配慮した海浜利用の推進

3

森林の保全と花と緑の島づくりの推進



■ 現状と課題

- ▶森林の持つ水源かん養機能は、生活排水及び農業用水を地下水より享受している本市にとって重要な役割を担っています。今後も水源地や生活環境を保全するため森林面積の維持・確保に向け人工造林に取り組む必要があります。
- ▶花と緑で彩られた環境は、市民や観光客など多くの人々に潤いと癒やしを与えることから、植栽活動の推進、公園、道路等の緑化及び美化に努め、花と緑の島づくりを推進する必要があります。



ハイビスカス



宮古島市亜熱帯植物園

用語解説

水源かん養機能 森林が雨水等を地中に時間をかけて蓄積し、安定した水量を海、河川等に供給する機能

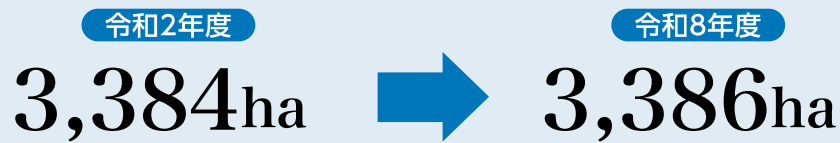


■ 施策の基本方針 1

豊かな自然環境と潤いのある生活環境の充実へ向け、人工造林や森林の計画的な整備・保全に取り組みます。

● 目標項目 ●

森林面積の確保・維持



● 施策一覧 ●

- ① 水源かん養林の造成・拡大及び維持
- ② 森林の保全や土地利用転換の抑制による森林面積の確保
- ③ 民有地等における造林の促進

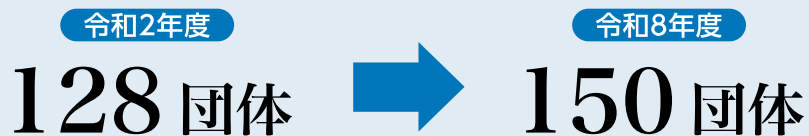


■ 施策の基本方針 2

花と緑であふれる美しい島づくりを推進します。

● 目標項目 ●

花と緑の島づくりに参加するボランティア団体数



● 施策一覧 ●

- ① 学校、自治会、各種団体等による花いっぱい運動の推進
- ② 自然や景観に調和した花と緑を増やす取り組みの推進
- ③ 植栽枡や公共施設における植栽活動ボランティアの支援

4 循環型社会の構築



■ 現状と課題

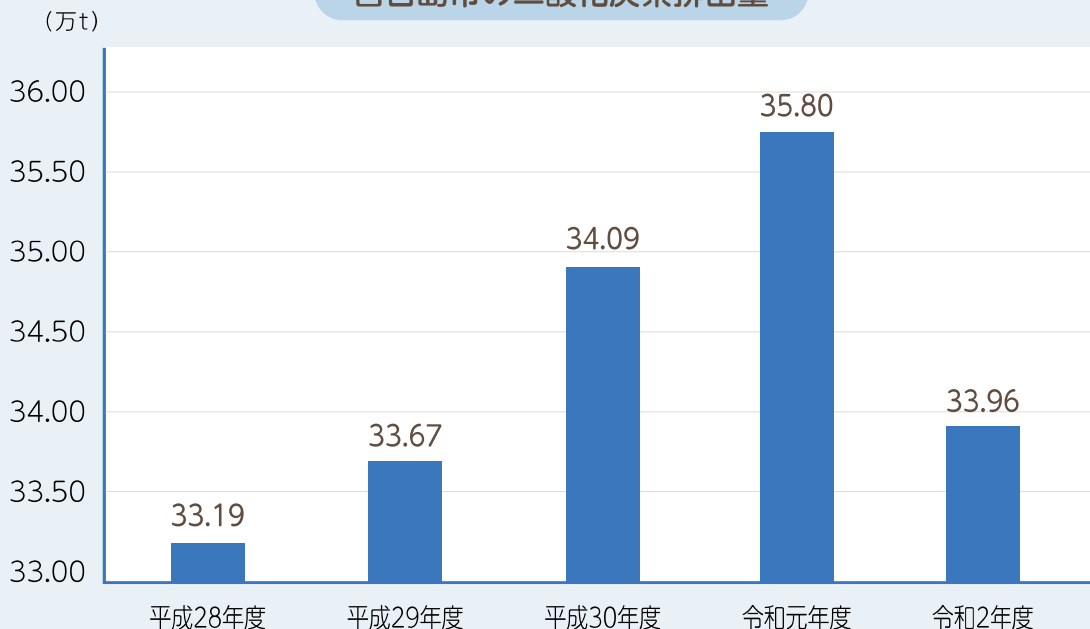
▶ 脱炭素による地球温暖化への対策だけでなく、本市の持続的発展に資するエネルギーの地産地消の促進や、エネルギーコストの低減化などのため、再生可能エネルギーの最大限導入への取り組みが必要です。

▶ 本市では平成30年に「エコアイランド宮古島宣言2.0」により、令和32年(2050年)までに達成すべき指標を定め、関連施策を推進しています。今後は、これまで以上に市民、事業者、観光客など本市に関わる多くの方々との連携により、持続可能な島づくりへのプラットフォームを構築する必要があります。



エコパスポート

宮古島市の二酸化炭素排出量



用語解説

エコアイランド宮古島宣言 2.0

平成 20 年に、地下水保全や地球温暖化など、本市をとりまく環境問題の改善に向け行った宣言。その後本市の環境・経済・社会の情勢の変化に鑑み、平成 30 年に標語・数値目標とともに「2.0」として再宣言。

プラットフォーム

事業等を実施、運営するために必要な共通の土台・環境

■ 施策の基本方針 1



脱炭素社会及び災害時に強い社会を構築するため、再生可能エネルギーの最大限導入に取り組みます。

● 目標項目 ●

二酸化炭素排出量の削減

令和2年度

令和8年度

33.96 万t → 27.15 万t

● 施策一覧 ●

- ①省エネ対策と省エネ意識改革の促進
- ②再生可能エネルギーの効率的・効果的な利活用に向けた電気自動車の普及
- ③再生可能エネルギーを活用した生活利便性の向上
- ④企業や大学等と連携した未利用エネルギー利活用の研究・開発
- ⑤安定的・持続的・低コストなエネルギーの地産地消

■ 施策の基本方針 2



持続可能な島づくりに向け、市民や事業者、団体等と連携し、エコ活動の普及・拡大を図ります。

● 目標項目 ●

エコ活動におけるプロジェクトの支援・創出数

令和2年度

令和8年度

0 件 → 3 件

● 施策一覧 ●

- ①持続可能な島づくりに向けて活動する市民や団体等を支援する体制の構築
- ②持続可能な島づくりを担う人材の育成に向けた出前講座の実施
- ③「エコアイランド宮古島」の実現に向けた取り組みの周知・啓発
- ④エコ活動を促進するための仕組みづくり及び情報発信の充実
- ⑤エコ活動に対する認定制度の充実



宮古ブルーと呼ばれる美しい海